

慢性硬膜下血腫 血腫除去術を受けられる患者様へ

担当医師

担当看護師

経過	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目～	術後7日目～	退院日
月日	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
検査・処置	医師の指示によって採血などの検査を行います。 場合によっては、血糖値を測定する場合があります。		手術直後にレントゲン・CT・血液検査があります。 手術後2時間毎に体温と血圧を測ります。 手術後、点滴、酸素マスクをつけることがあります。(酸素マスク数時間～翌朝)	リハビリテーションが開始になります。	手術部位のガーゼを外します。 創部周囲に浸出液が溜まる場合があります。必要に応じて創部より抜くことがあります。	頭のCTを撮影します。	朝、血液検査があります。 創部の抜糸を行います。	
内服薬・点滴	現在、内服しているお薬やサプリメントがあれば看護師に教えてください。 点滴や内服薬については、薬剤師から説明させていただきます。	内服は看護師がお持ちします。	手術中から点滴を行います。 痛みどめ(坐薬もしくは点滴)が使用出来ます。 痛みがある時は我慢せずに看護師を呼んで下さい。	補液の為に点滴を行います。(食事が食べることができて、問題がなければ点滴は終了になります。) 痛みが強い際には痛み止めを飲むことが出来ます。看護師に伝えてください。 吐気がある際には薬を使うことが出来ます。看護師に伝えてください。				
安静度	医師の指示により看護師の付き添いが必要になります。看護師の指示に従ってください。 手術前に体拭きを行います。(入院当日に手術の場合は行いません)	手術室へは(車椅子・ベッド)で向かいます。	ベッド上での安静になります。 医師の許可で車椅子でトイレに行くことが出来ます。	問題がなければ起き上がることが出来ます。初回は看護師が付き添って歩行をします。以降は看護師が安静度の説明を行います。		洗髪が出来ます。創部を洗うのに不安な方は看護師におっしゃってください。		
食事	治療食でない限り、制限はありません。	手術前は禁食になります。	禁食になります。 医師の指示により食事が再開になります。	食事が再開になります。 希望により食形態を変更できます。				
看護・指導	看護師が入院するまでの経過や自宅での生活についてお話しを伺います。同時に手術前後の説明を行います。その後、病棟のご案内をいたします。 手首にネームバンドを装着させていただきます。 同意書の確認を行います。	時計・眼鏡・アクセサリー・ヘアピン・義歯・コンタクトレンズ・かつらは手術前に外します。貴重品は鍵のかかる引き出しに保管して下さい。		日中は出来るだけ起きてるようにしましょう。手術部位から顔にかけて腫れる場合があります。起きている時間を増やして、頭を高くすることにより腫れの引きが早くなります。 首下シャワー浴を行うことが出来ます。		退院日について医師と調整を行います。	【退院指導】 手術の痛みが増強する等の症状がある際には病院へ電話し、外来を受診してください。	

上記のスケジュールにそった入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。

注)1 入院期間については、現時点で予想されるものです。